

## 2 自然と共生するまちづくり

- 2-1 豊かな自然景観の保全
- 2-2 循環型社会の構築
- 2-3 快適な生活環境の整備



## 2-1 豊かな自然景観の保全

### □目標

美しい田園風景や豊かな森林環境を維持し、自然景観を保全します。

### □施策の方向

本町には、澄んだ空気、きれいな川、緑豊かな森林と里山、美しい田園散居集落などの素晴らしい自然の財産があります。

将来にわたって持続的に自然景観を保全し、次世代に美しい景観を引き継ぐことができるよう総合的な景観保全対策を進め、自然との共生を目指します。

### □具体的な取り組み

#### ○ 景観の保全

田園散居集落など美しい田園景観の保全を推進します。特に屋敷林の管理保全への取り組みを推進します。また、森林・里山の保全や花いっぱい運動の推進等により美しい景観づくりに努めます。

#### ○ 自然環境の保全

森林ボランティアの育成や水源地域への不法投棄防止、環境教育の実施などにより自然環境の保全を図ります。

#### ◇まちづくりの活動目標◇

- ・景観に関心を持ち、花いっぱい運動などの身近な景観づくり活動に参加します。
- ・水や緑の自然に親しみ、その役割を理解します。

## 2-2 循環型社会の構築

### □目標

日常の生活から自然環境に配慮する循環型社会の構築を目指します。

### □施策の方向

限りある資源を循環・再利用する「循環型社会」を形成し環境への負荷をできる限り低減する活動を推進します。

地球温暖化防止対策は毎日の暮らしに関わるものであることから、一人ひとりが環境問題を考え環境保全のために行動できる環境づくりを進めます。

### □具体的な取り組み

#### ○ 自然エネルギーの活用

「飯豊町地域新エネルギービジョン」に基づき、自然と共生する社会を実現するため、木質バイオマス<sup>\*</sup>や太陽光、風力、水力の利用促進など自然エネルギーの活用を推進します。

#### ○ ごみ減量化等の推進

循環型社会の構築を目指し、ごみや下水道汚泥の発生抑制や再使用、再資源化などにより、ごみなどの減量化と資源の有効活用への取り組みを進めます。

#### ◇まちづくりの活動目標◇

- ・ごみの分別やごみ出しのルールを徹底するとともに、ごみの減量に努めます。
- ・日常生活の中で省エネルギーに心がけ、二酸化炭素排出の抑制に努めます。

<sup>\*</sup>バイオマス：再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの。

## 2-3 快適な生活環境の整備

### □目標

快適な生活環境を確保するため、安全な水道水の提供と河川・水路等の水質浄化に努めます。

### □施策の方向

生活を営むうえでの基本となる安全で安定的な水道水の提供を行います。また、河川や水路の水質を改善するため、生活排水対策による浄化を推進します。

### □具体的な取り組み

#### ○ 安全な水道水の提供

安全で安心な水を提供するため、水質検査体制を強化するなど危機管理体制を強化するとともに、基幹水道施設の老朽化に伴う設備更新と耐震化を計画的に実施します。また、更に安定した水の供給を図るために、新たな水源の確保を検討します。

#### ○ 生活排水対策の推進

生活排水の水質を改善するため、農業集落排水事業や合併処理浄化槽整備事業を効率的に実施します。

#### ◇まちづくりの活動目標◇

- ・生活排水対策事業に積極的に参加し、生活排水の浄化に努めます。
- ・水資源の貴重さを認識し、節水に心がけます。

## ■指標

指標名	実績値 (平成 21 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)	備考
企業の森活動参加 企業数	2社 (平成 22 年度)	2社	3社	
ペレットストーブ導 入台数	90台	150台	200台	延べ導入台数
木質ペレット版エコ ポイント <sup>※</sup> 発行数	—	100,000ポイント	130,000ポイント	平成 22 年度 開始
生活系ごみ排出量	153kg	140kg	128kg	年間町民 1 人 当たり排出量
生活系資源ごみリ サイクル率	21.6%	22.5%	23.5%	
生活排水処理普 及率	69.6%	85%	100%	

※木質ペレット版エコポイント：町内産木質ペレットの購入時にポイントを進呈し、そのポイントは飯豊町商工会商品券と交換できる制度。